第5章　計画の推進に向けて

本計画における緑の将来像と計画目標を達成するため、PLAN(計画)→DO(実行)→CHECK(評価)→ACTION(改善)の4段階を繰り返しながら、本計画における取組を着実に推進することが求められます。

5-1 計画の中間見直し

本計画では計画期間を、2021年度（令和3年度）～2030年度（令和12年度）の10年間としていることから、計画期間の中間にあたる2026年度（令和8年度）を計画の中間目標年度として設定します。

5-2 本計画における目標値

以下2つの視点より、2030年度（令和12年度）における本計画の目標値を設定します。

- 本計画の推進を総合的に評価するための目標値（アウトカム指標）
- 本計画における施策のうち、本計画の緑の将来像である「緑とともに　魅力あふれる沼津の暮らし」に特に寄与する施策について評価するための目標値（アウトプット指標）

■アウトカム指標

具体的指標	目標値
・公園の利用環境やまちなかの緑が充実していると感じる市民の割合	60%

■アウトプット指標

基本方針	具体的指標	目標値
基本方針１　まもる緑 豊かな自然環境の保全と活用	・歴史公園の新規整備	2公園（興国寺城跡、高尾山古墳等）
基本方針２　つくる緑 社会情勢を踏まえた緑地空間の整備	・都市公園等の市民一人あたりの面積	8.16㎡（参考：2020年（令和2年）3月現在　6.93㎡／人）
基本方針３　つかう緑 多様な主体による緑地空間の利活用	・公園を活用する民間事業者等が活用によって得た収益の一部を、公園の維持管理・運営管理の財源として還元できる仕組みづくり	4公園（中央公園、島郷公園等）
基本方針４　育てる緑 協働による良好な緑地空間の維持管理	・パークマネジメント協定制度による協定締結数	21団体以上（沼津市パークマネジメントプランで設定した目標値から引用）

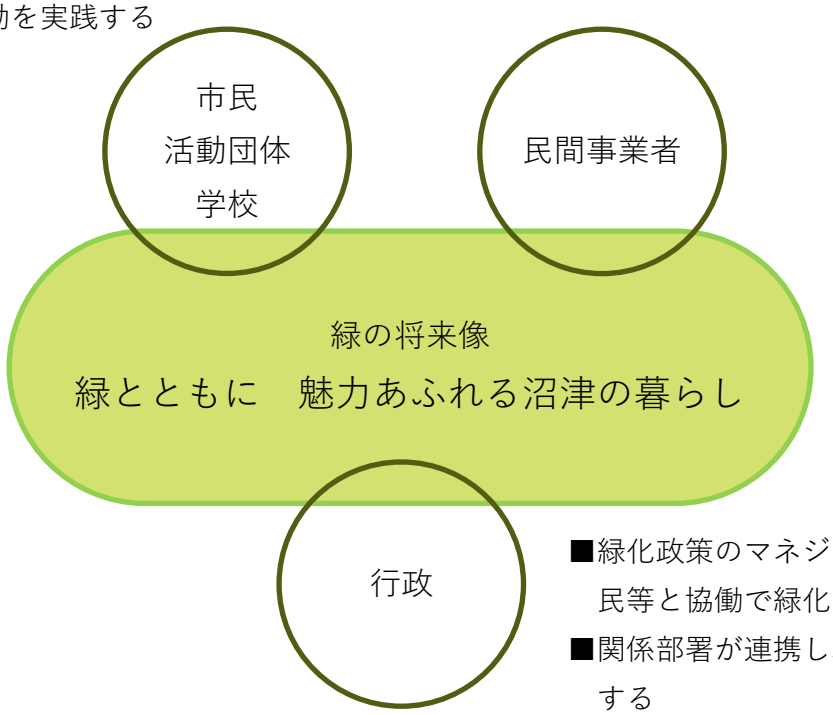
5-3 推進体制

本計画の推進にあたっては、市民・活動団体・学校、民間事業者及び行政の協働により取組を推進します。

【協働による計画推進のイメージ】

■まちづくりへの理解を深める
■身近な地域づくりへ積極的に参加する
■緑化活動を実践する

■事業活動等を通じた地域貢献を推進する
■良好な緑地空間の創出・保全に協力する



■緑化政策のマネジメントにより、市民等と協働で緑化活動を推進する
■関係部署が連携し、緑化施策を推進する

5-4 緑化重点地区における取組の推進

「緑の将来像」の早期実現を図るため、地区緑化の実現性及び緊急性、保全・利活用すべき良好な緑地の存在に着目し、緑化の推進を重点的に進めていく緑化重点地区を選定します。

沼津駅周辺地区